

※各事業の詳細については、「別紙 1」をご参照ください。

② ボランティア活動補助金

ボランティア団体等が地域や社会のニーズをとらえて自発的に取り組む事業です。

14件の応募の中から、次の新規事業3件と、令和元年度からの継続事業4件の計7事業を決定しました。

No.	事業名	団体名
1	在宅ケアが常時必要な方を対象にした生涯学習の訪問サービス事業	特定非営利活動法人 フュージョンコムかながわ・県 肢体不自由児協会
2	病気や障害のある子どものきょうだい児支援事業	特定非営利活動法人 スマイルオブキッズ
3	飼育放棄された老犬・老猫及び傷病犬・傷病猫を介護するケアハウス運営事業	一般社団法人 アニプロ

※各事業の詳細については、「別紙 2」をご参照ください。

③ ボランティア団体成長支援事業(委託事業)

ボランティア団体が自立的かつ安定的に活動できるよう、県が中間支援組織等にその支援を委託して実施する事業です。

3件の応募の中から、1事業を決定しました。

No.	事業名	団体名
1	セルフチェックによる組織課題の可視化と組織のリデザイン事業	特定非営利活動法人 藤沢市民活動推進機構

2 令和元年度ボランティア活動奨励賞受賞団体

地域や社会の課題に光を当てた実践的な活動に取り組むボランティア団体等を表彰します。

23件の推薦の中から、5団体を決定しました。

No.	団体名	所在地
1	おもちゃひろばロリポップ	藤沢市
2	特定非営利活動法人 JUNKO Association	鎌倉市
3	NPO 法人平塚のら猫を減らす会	平塚市
4	NPO 法人海の森・山の森事務局	横浜市港北区

5	一般社団法人びじっと・離婚と子ども問題支援センター	横浜市中区
---	---------------------------	-------

※各団体の概要、選考理由等の詳細については、「別紙3」をご参照ください。

問合せ先

かながわ県民活動サポートセンター

副所長 伊藤 電話 045-312-1121 (内線 2801)

基金事業課長 岡 電話 045-312-1121 (内線 2830)

令和2年度実施 協働事業負担金対象事業一覧

(単位:千円)

(一般部門)

継続・新規の別	No.	事業名	団体名	事業内容	団体所在地	協働部署	負担金額
継続	1	外国につながる子ども・若者と家族の包括的支援	特定非営利活動法人 ABCジャパン	外国につながる子どもたちの学習環境を充実させ、保護者が主体的に子どもの教育に関われるよう、サポートと多言語によるキャリア支援を行い、若者が将来のビジョンを描ききっかけ作りを行う。	横浜市 鶴見区	高校教育課 子ども教育支援課	5,400
	2	横浜こどもホスピス設立運営事業	特定非営利活動法人 横浜こどもホスピスプロジェクト	生命を脅かす病気をもつ子どもとその家族を対象に、専門病院等と連携し、生活の向上を図るとともに、小児緩和ケアに関する人材育成や啓発事業を行い、すべての子どもが子どもらしく生きる権利を保障することに寄与する。	横浜市 中区	がん・疾病対策課 県立病院課	8,000
	3	フリースクール等学校外の学びの場の必要性の周知を目的とした県域ネットワーク構築事業	特定非営利活動法人 鎌倉あそび基地	学校外での学びを望む子ども一人ひとりの特性を生かした学びの機会を提供するとともに、県域ネットワークの構築をしながら社会的自立をサポートする。	鎌倉市	子ども教育支援課	6,100
	4	隙間時間活用による高齢者職場遠流プログラム推進事業	特定非営利活動法人 YUVEC	シニア人材と人材不足で悩む中小企業を結び付け、新しい人材活用の道を作り出す新たな就労モデルを構築する。	横浜市 保土ヶ谷区	未来創生課 中小企業支援課	2,885
新規	5	性的虐待、性暴力の被害を受けた高齢児童への長期的ワンストップ支援	NPO法人 神奈川子ども支援センターつなぐ	性的虐待、性暴力を受けた子どもが高年齢児童の年齢になり発生した心理的・身体的影響に対し、関係機関と連携して支援することにより早期回復や健全な成長を促す。	横浜市 中区	子ども家庭課 くらし安全交通課 子ども教育支援課 学校支援課	3,600
	6	がん患者外部講師によるがん教育モデル構築事業	一般社団法人 神奈川県がん患者団体連合会	がん患者等を中心に、がんを正しく理解し、命の大切さについて学ぶがん教育を行う外部講師として養成し、県内の学校に安定的に講師を派遣できる体制を構築し、がん教育に寄与する。	横浜市 港南区	がん・疾病対策課 保健体育課	2,500

(課題部門)

継続・新規の別	No.	事業名	団体名	事業内容	団体所在地	協働部署	負担金額
継続	7	「食」と「地域」をつなぎ神奈川から貧困をなくすためのK-Model構築事業	特定非営利活動法人 セカンドリーグ神奈川	「食」と「地域」をつなぎ、生活に困難を有する方を支援することで生活困窮者や経済的に厳しい状況に置かれたひとり親家庭などが安心して暮らせる神奈川を創る。	横浜市 港北区	子ども家庭課 子ども支援課 資源循環推進課 消費生活課 生活支援課 住宅計画課	2,000

(特定課題種)

継続・新規の別	No.	事業名	団体名	事業内容	団体所在地	協働部署	負担金額
継続	8	造血幹細胞移植総合支援プロジェクト事業	特定非営利活動法人 キャンサーネットジャパン	一人でも多くの救える命を救うために、県民の造血幹細胞移植への関心と理解を深め、新たなウェブサイトをハブとして、患者及びその家族とドナー登録者を支援する仕組みを構築する。	東京都 文京区	がん・疾病対策課	5,750
	9	骨髄ドナー登録推進事業	神奈川骨髄移植を考える会	白血病の治療法である骨髄移植を促進するため、骨髄移植についての正しい理解と普及啓発を行い、説明員を養成することで骨髄ドナー登録者を増やすとともに、白血病等がん患者や家族への支援を行う。	平塚市	がん・疾病対策課	4,250
	10	アクティブエイジ応援プロジェクト	特定非営利活動法人 横浜移動サービス協議会	多様な外出支援活動を広く周知して、現役世代等の新たな地域人材を掘り起こし、その社会参加を促すことで、担い手不足の解消を図るとともに、地域で支え合う仕組みを構築する。	横浜市 中区	未来創生課 高齢福祉課 特別支援教育課	6,200
	11	湘南ワンハンドレッドプロジェクト	特定非営利活動法人 湘南スタイル	人生100歳時代における豊かなワーク・ライフのために、現役世代の40～50代を対象に、地域活動に関わりながらこれからの働きかた・くらしかたを描き実現していく機会を創出する。	茅ヶ崎市	未来創生課 湘南地域県政総合センター	6,000
	12	子ども支援活動地域サポート推進事業	特定非営利活動法人 神奈川子ども未来ファンド	貧困など困難な状況にある子どもたちの健やかな育ちを社会全体で支えるため、子ども支援活動を支援するサポーターの創出やコーディネートによる地域づくりを推進する。	横浜市 中区	子ども支援課 青少年課	5,234

令和2年度ボランティア活動補助金 対象事業一覧

別紙2

(単位:千円)

継続・新規の別	番号	事業名	団体名	事業内容	団体所在地	補助金額
継続	1	ノヴィーニェ「こども食堂&こども寺子屋」	NPO法人 アフリカヘリテイジコミュニティ	国際色豊かなこども達が安心して集まれるこども食堂・こども寺子屋を運営し、教育環境支援を図り、多文化共生のできるまちづくりにつなげる。	相模原市 中央区	600
	2	人材育成 仕事と子育て両立体験研修事業「家族シミュレーション」	特定非営利活動法人 びーのびーの	若者を対象に家庭での育児体験を実施し、第三者の家庭、子どもに触れる体験がその後の家族観、就労意識などに及ぼす変化を研究し、育児体験者を受け入れることで新たな子育て支援施策となる事業の開発をめざす。	横浜市 港北区	780
	3	親子きつおん交流会事業	特定非営利活動法人 よこはま言友会	吃音症のある子どもたちと保護者を対象としたイベント「親子きつおん交流会」を開催し、吃音についての正しい理解の普及啓発と情報提供、不安の軽減とサポートを行う。	横須賀市	70
	4	編み物で繋ぐ日本の高齢者の生きがい作りと途上国の衛生改善	特定非営利活動法人 地球市民ACTかながわ	日本の高齢者が編んだ「エコたわし」を、アジアやアフリカ、中南米などの途上地域に届け、その衛生改善を図るとともに、高齢者の心身の健康や社会参加による生きがいを創出する。	横浜市 中区	1,000
新規	5	在宅ケアが常時必要な方を対象にした生涯学習の訪問サービス事業	特定非営利活動法人 フュージョンコムかながわ・県肢体不自由児協会	障害や病気のために通所施設等の毎日の利用が難しい18歳以上の在宅ケアを必要とする方のご自宅を、学習支援員が訪問し、生涯学習を支援する訪問・福祉サービスを立ち上げ、その人らしい豊かな生き方の支援を行う。	横浜市 神奈川区	484
	6	病気や障害のある子どもものきょうだい児支援事業	特定非営利活動法人 スマイルオブキッズ	きょうだい児支援に関わる専門家によるシンポジウム開催を通じて、病気や障害のある子どもの兄弟・姉妹の支援の重要性を社会に周知し、支援者同士のネットワーク作りの機会を創出することで、子育て環境の改善に寄与する。	横浜市 南区	123
	7	飼育放棄された老犬・老猫及び傷病犬・傷病猫を介護するケアハウス運営事業	一般社団法人 アニプロ	飼育放棄された高齢の犬や猫及び傷病犬・傷病猫などを保護收容し、適正な医療を提供・介護するケアハウスを運営し、動物を飼養することの責任と楽しさを講演活動を通じて発信することで、県民の動物愛護意識を高め、飼育放棄をなくす。	真鶴町	890

令和元年度ボランティア活動奨励賞受賞団体一覧

1	団体名	おもちゃひろばロリポップ		
	代表者	西村 玲子		
	所在地	藤沢市	活動開始時期	平成 18 年 9 月
	活動分野	子どもの健全育成		
	活動の概要	知的障がい児者のニーズに合わせた安全性の高い布製おもちゃの提供		
	選考理由	知的障がい児が楽しみながら学ぶことのできるおもちゃを、当事者・支援者のニーズに基づいて開発・製作し、それを貸出等を通じて普及するという、非常に特殊でありかつ必要性の高い事業に、十年以上にわたって地道に取り組まれてきたことを、高く評価しました。とりわけ障がい児、家族、特別支援学校の教諭、放課後等デイサービスの支援員、おもちゃ製作に携わるボランティア団体等、多くの関係者の連携によって、アイデアと想いの詰まったおもちゃが生み出され、それが障がい児の暮らしと学びを豊かなものにする、敬遠しがちな医療機関の受診行為にもつながるツールとなること等、この取組の社会的意義は極めて大きいものです。今後とも、おもちゃが生まれるプロセスを重視しつつ、こうした取組が、社会で一層共有されていくようになることを期待しています。		
2	団体名	特定非営利活動法人 JUNKO Association		
	代表者	松岡 良樹		
	所在地	鎌倉市	活動開始時期	平成 7 年 6 月
	活動分野	国際協力		
	活動の概要	明治学院大学の学生を中心としたベトナム・ミャンマーでの教育支援・文化交流事業		
	選考理由	四半世紀にわたり、国際 NGO としてベトナム、ミャンマーで教育支援・文化交流の活動を継続して行ってきたこと、また、一方的な支援ではなく日本の大学生・高校生による国際交流を進めてきたことを評価しました。大学生主体の活動ながら、法人化し、現地や日本の変化に合わせて活動を継続してきたこと、活動を経験した卒業生が神奈川県だけではなく各地で活躍していることが、貴団体の大きな成果でしょう。これまでの活動を深化させつつ、基金の立上げなど現地との新しい協働事業も開始しており、貴団体の活動がさらにグローバルな市民社会の形成に貢献するものと期待しています。		

3	団体名	NPO 法人平塚のら猫を減らす会		
	代表者	平田 昇		
	所在地	平塚市	活動開始時期	平成 14 年 4 月
	活動分野	まちづくりの推進		
	活動の概要	のら猫に関わるトラブルゼロを目指した地域猫活動の実施		
	選考理由	<p>地域で社会問題化している「猫トラブル」の発生メカニズムの分析を踏まえ、「のら猫をゼロにするのではなく、のら猫に関わる住民間トラブルをゼロにする」という問題の本質を捉えた解決策を見出し、団体設立から 18 年にわたって、不妊・去勢手術をした猫 5,000 匹以上、譲渡会等で里親に引き取られた猫 900 匹という地道な活動実績を積み上げてこられました。また、平塚市との協働事業を通じて、地域住民同士のコミュニケーションにより猫トラブルを減少させるとともに、企業を巻き込み、助成金に頼らず自己負担のない活動資金調達を実現するなど、自立した事業活動プロセス・モデルを構築し、町づくりに寄与していることに感動しました。</p> <p>「人間によって作り出した問題は、人間が知恵を出し行動することでしか解決できない」というお手本を示したものと高く評価します。</p> <p>これからも貴団体の目標達成に向けて活動を継続させるとともに、同様の問題を抱えている他地域への啓発やノウハウの移転など、活動の波及に向けた今後の展開にも期待しています。</p>		
4	団体名	NPO 法人海の森・山の森事務局		
	代表者	豊田 直之		
	所在地	横浜市港北区	活動開始時期	平成 24 年 1 月
	活動分野	環境の保全		
	活動の概要	河川や海岸、海底のゴミ拾いや小学生向けの環境出前授業及び実習などの実施		
	選考理由	<p>河川や海底などのごみを回収し、環境を改善するという具体的な行動に加え、その活動を見える形にして環境保護の啓発に生かしています。</p> <p>特に、環境出前授業という子どもへの働きかけでは、単に環境の大切さを説くだけでなく、子ども自身が何をできるのかを考え、行動することにつながったことにも価値があります。</p> <p>団体の活発な活動に加え、会員数が順調に増えていることも心強いです。現在は理事長が活動の多くを担っていますが、会員増によりその負担も徐々に解消されていくことでしょう。</p> <p>今後は、横浜市内に限らず、賛同する県民や他の団体とつながりを作ることで、活動がさらに飛躍することを期待しています。</p>		

5	団 体 名	一般社団法人びじっと・離婚と子ども問題支援センター		
	代 表 者	高津 妙理		
	所 在 地	横浜市中区	活動開始時期	平成 19 年 8 月
	活 動 分 野	子どもの健全育成		
	活動の概要	離婚や別居等の理由により離れて暮らす親子のための面会交流支援事業		
	選考理由	<p>離婚や別居によって親と離れて暮らす子どもの面会交流支援という難しい社会的課題に、12年にわたってきめ細かく取り組んでおられることを高く評価いたしました。無事故・無事件で支援が継続されていることは、慎重な対応体制づくりに多大な努力を払ってこられた成果です。年間支援合計回数が600回超と増大する中、多様な人を巻き込みスタッフとしての人材育成を行うとともに、弁護士等の専門家と連携するなど、支援の質を確保していること、また、面会交流支援に加え、相談や交流会も実施するなど、手厚い支援を行っていることも他団体のモデルとなるものです。</p> <p>今後も個々の家庭に応じた丁寧な寄り添い支援を、関係機関などとのつながりも深めつつ、多くの人参加を促進しながら進めていくことで、県域に支援の輪が広がっていくことを期待しています。</p>		